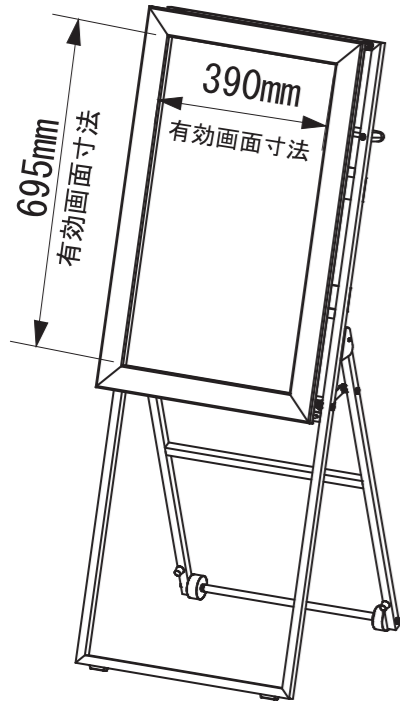


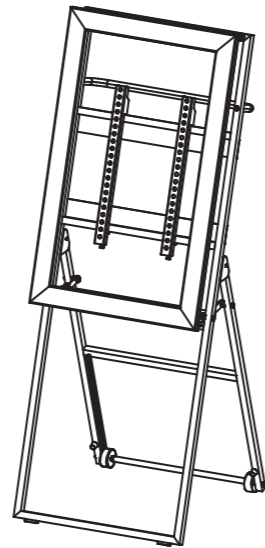
完成図



対応ディスプレイサイズ
32V

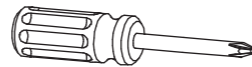
耐荷重の目安

ディスプレイ: 15kg



【スタンド本体の完成イメージ】
 (ディスプレイは別売です。)

プラスドライバーをご用意ください。

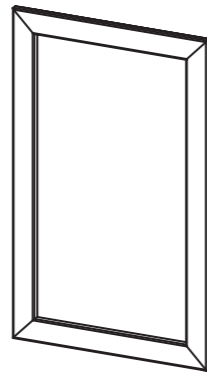


◎組み立て前に、全ての部品が揃っているかどうかお確かめください。

① 本体



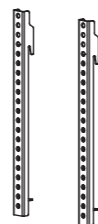
② フロントパネル



③ ハンドル



④ ディスプレイ取付金具x2



スタンド組み立て用 その1

No.	部品図	部品名	数量
①		組立ボルト M6x30	2
②		高さ調整用ネジ M6x60	2
③		固定ネジ M6x50	2
④		六角レンチ (4)	1

スタンド組み立て用 その2

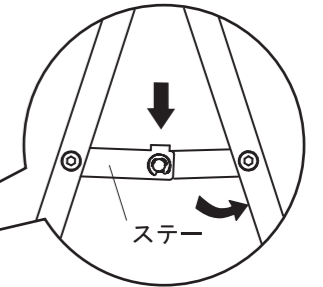
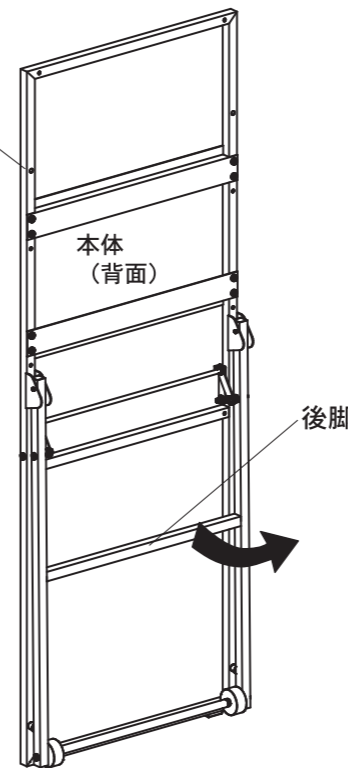
No.	部品図	部品名	数量
⑤		アジャスター ボルト	4
⑥		アジャスター ナット付	(12)
⑦		キャップ M6	4

ディスプレイ取り付け用

No.	部品図	部品名	数量
⑧		ボルト-A M6x35	4
⑨		ボルト-B M6x25	4
⑩		ボルト-C M6x15	4
⑪		ボルト-D M4x15	4
⑫		ワッシャー 6.5mm	4
⑬		スペーサー	8

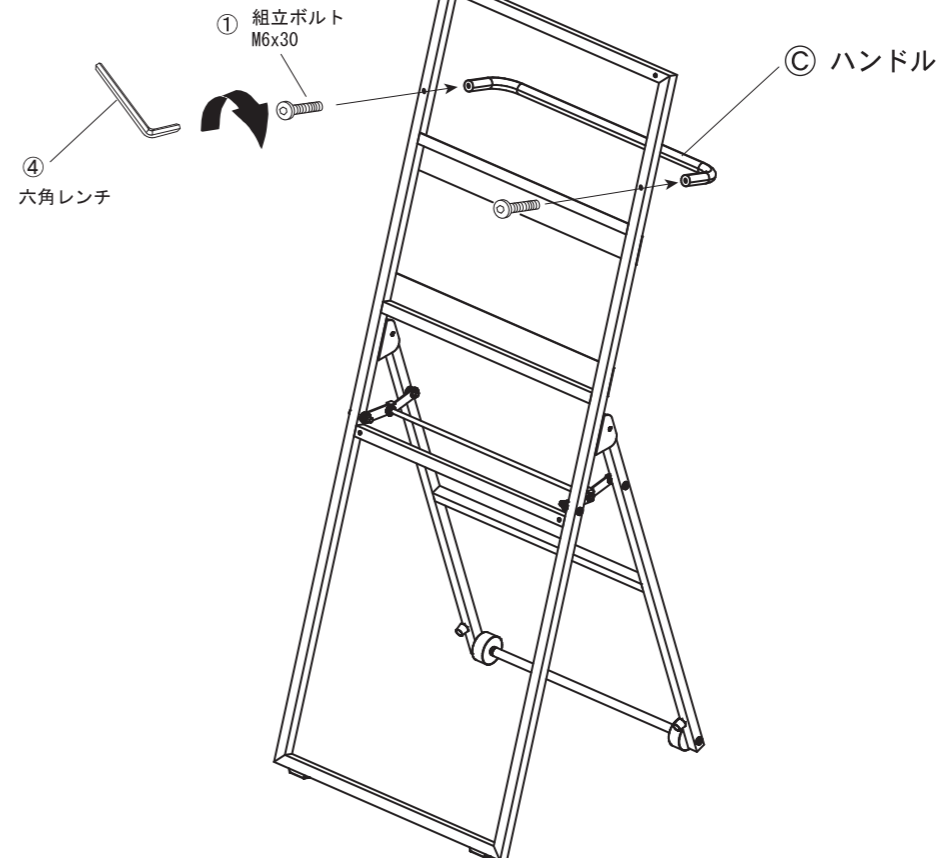
1 本体の設置

① 本体



ステーがまっすぐになるまで、
 後脚を広げてください。

2 ハンドルの取り付け



3 受け金具の調整、及びディスプレイ取付金具の取り付け



ディスプレイのVESA穴の寸法(ピッチ)によって、受け金具の位置が変わります。
 400mm、200mmの場合は、本体の「上」と「中」の穴に、受け金具を取り付けます。(出荷時は「上」と「中」に取り付けてあります。)
 300mm、100mmの場合は、本体の「中」と「下」の穴に、受け金具を取り付けます。



ディスプレイ取付金具の穴位置は、ディスプレイがフロントパネルの中央になるように、VESA穴の寸法(ピッチ)によって異なりますので、左図を参照して組み立ててください。

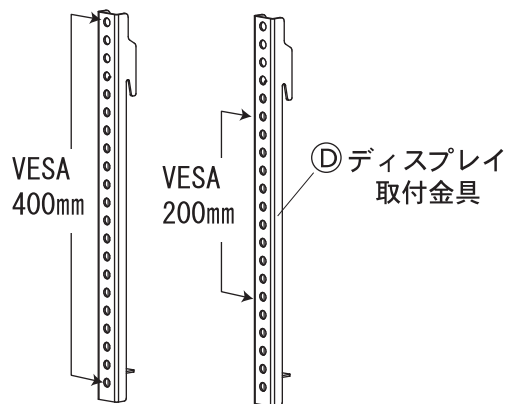
VESA 400mm,200mmの場合

VESA 300mm,100mmの場合

「上」と「中」の穴に受け金具を取り付けてください。
 (出荷時の状態)

受け金具の向きに注意

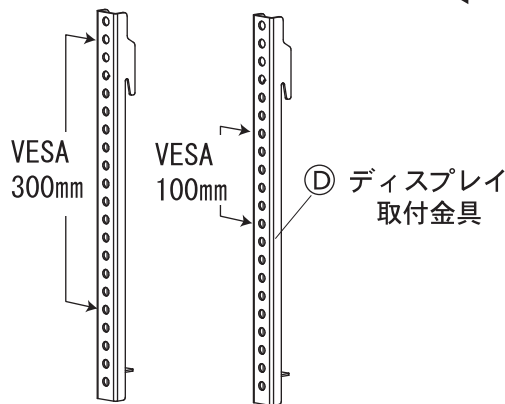
上から1個目の穴 上から6個目の穴



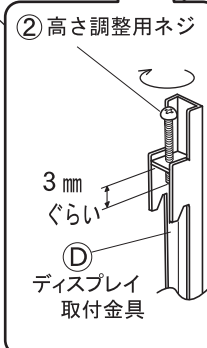
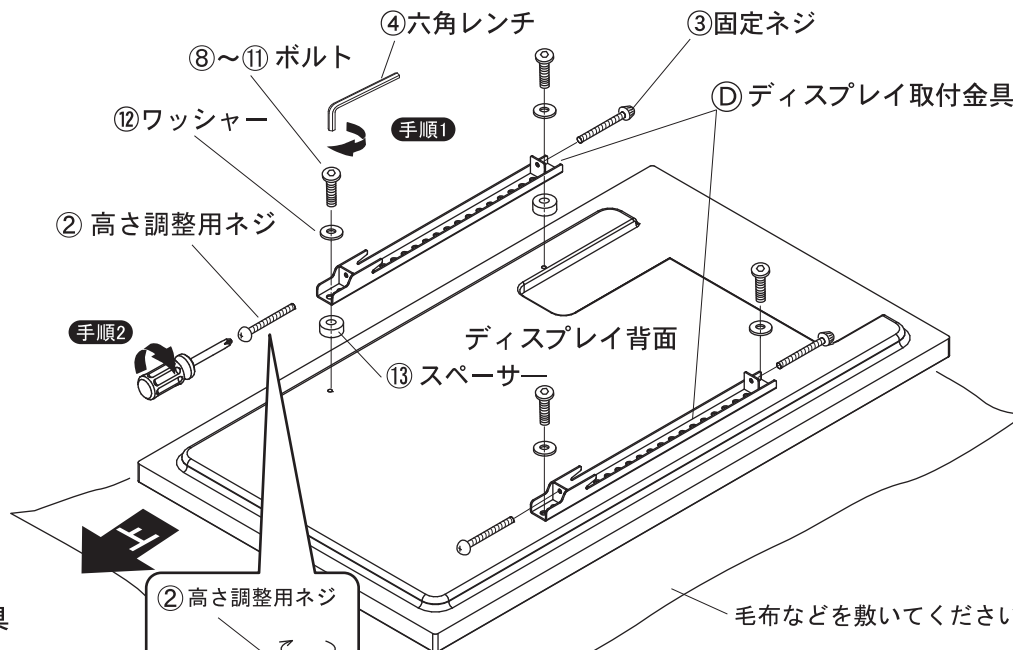
「中」と「下」の穴に受け金具を付け替えてください。

受け金具の向きに注意

上から2個目の穴 上から7個目の穴

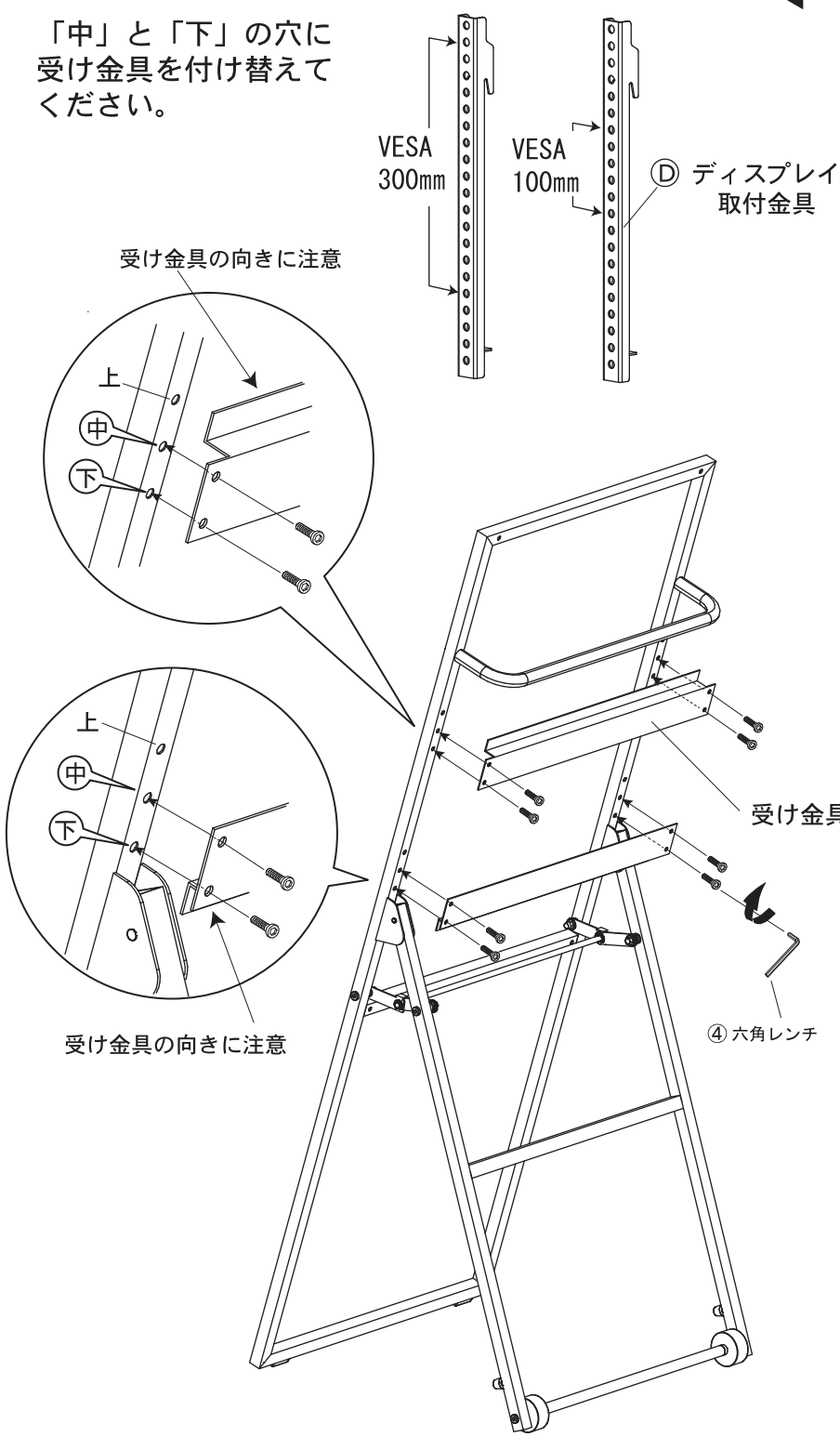
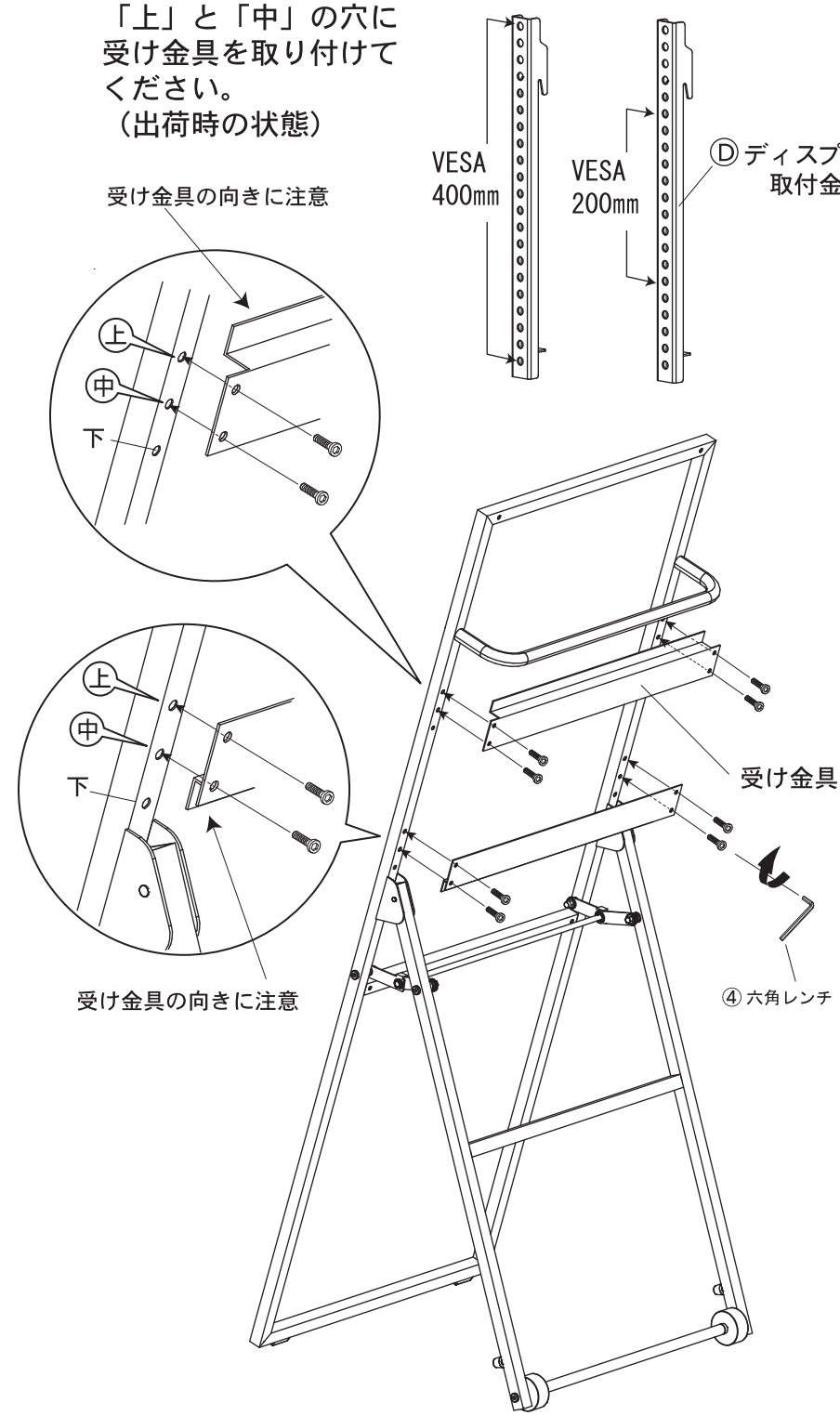


ご使用になるディスプレイに合わせたボルトでディスプレイ取付金具を取付けます。
 ⑧ M6x35/ ⑨ M6x25/ ⑩ M6x15/ ⑪ M4x15/の各種 ボルトを、必要に応じてご使用ください。
 付属のボルトで取付けられない場合、ボルトのサイズをメーカーにご確認して頂き別途お求めください。
 ⑬スペーサーは、ディスプレイ背面の形状や、配線位置に応じて使用してください。

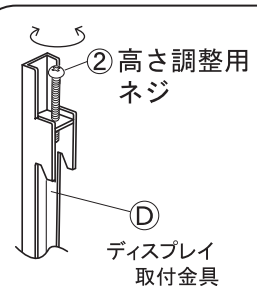
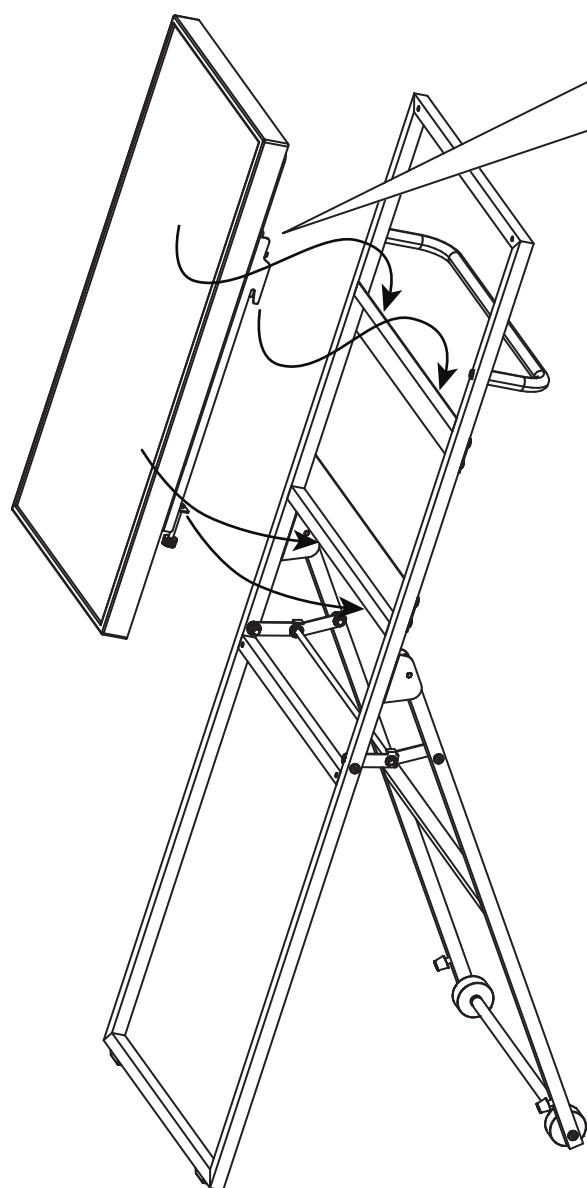


ディスプレイ取り付けのボルトは、ディスプレイにより異なりますので、最適なボルトをご確認の上、ご使用ください。サイズの異なるボルトをご使用になるとディスプレイ本体を破損する恐れがありますので十分ご注意ください。

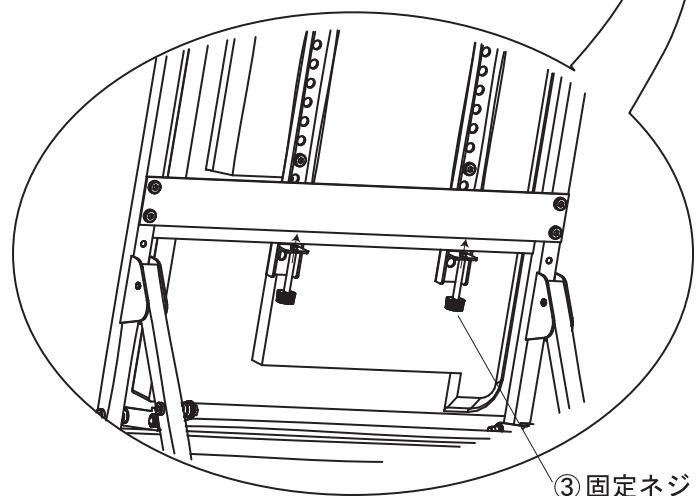
VESA穴の面とベゼルの前面までの厚みが30mm以下のディスプレイをご使用の場合は、⑬スペーサーを必ず使用してください。(フロントパネルの位置調整が出来なくなります。)



4 ディスプレイの取り付け



ディスプレイ左右の傾きの調整は、金具上側の図中の②高さ調整用ネジを回して調節してください。



③固定ネジ
本体背面下から③固定ネジを回し、しっかりと締め付けてディスプレイを固定します。

5 フロントパネルの組み立て

外側の⑥アジャスターナットを1つ取り外します。

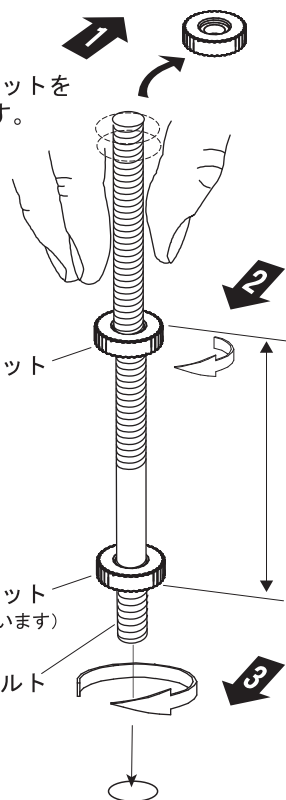
紛失しないように保管しておいてください。

【図1】

⑥アジャスターナット (可動します)

⑥アジャスターナット (ボルトに固定されています)

⑤アジャスターボルト



ディスプレイの厚み+約15mm

毛布などを敷いてください。

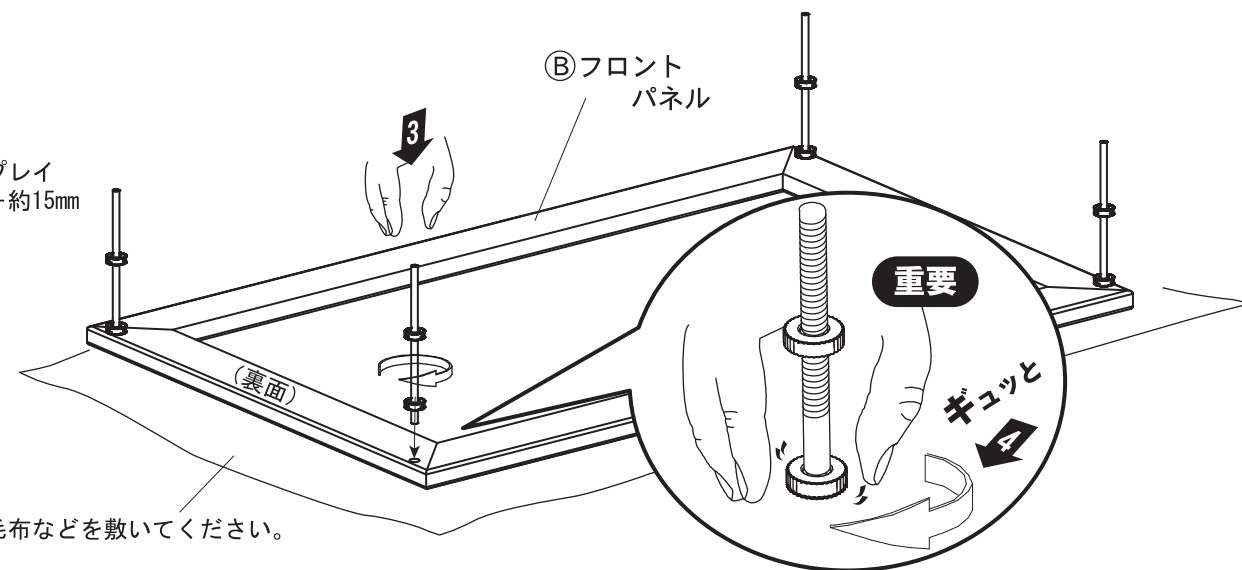
手順1 外側の⑥アジャスターナットを指先で、1つ取り外してください。

手順2 【図1】を参照して、上側の⑥アジャスターナットを取付けるディスプレイの厚み+15mmになるように調整してください。(微調整は次工程でします)
(ディスプレイの厚みが30mm以下の場合、工程「2」で⑩スペーサーを使用してください。)

手順3 ⑤アジャスターボルトを指先で、フロントパネル裏面のネジ穴に取り付けてください。

手順4 下側の⑥アジャスターナットを指先で、フロントパネル裏面までしっかりと締め付けてください。

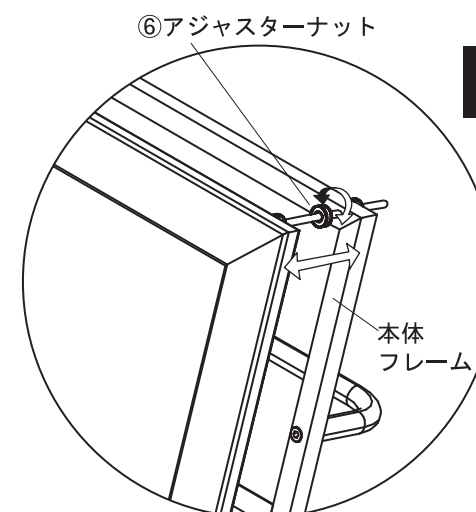
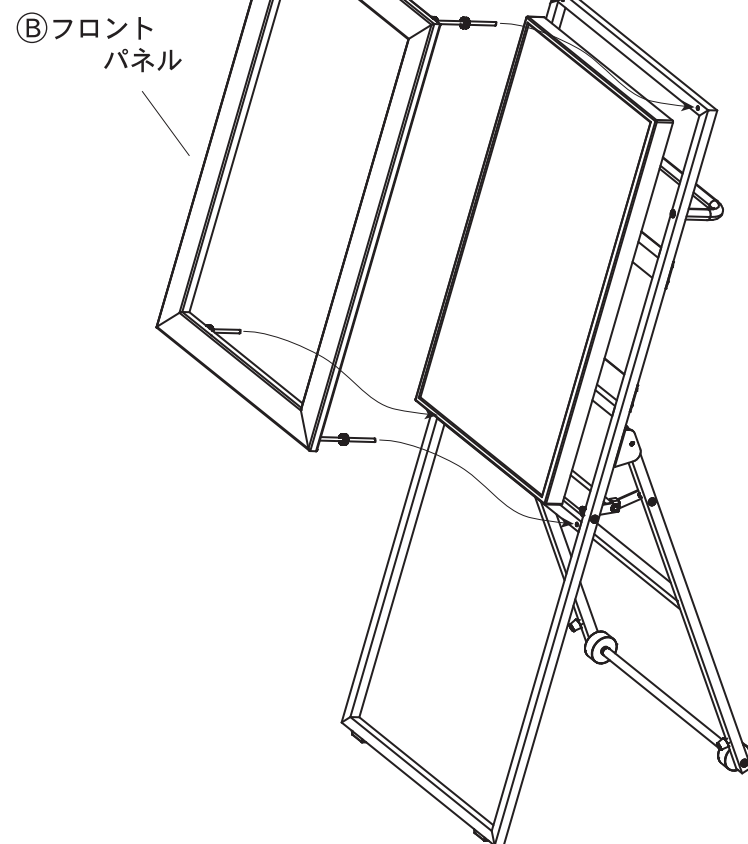
※締め付けが緩いと破損の原因となりますので、ご注意ください。



6 フロントパネルの取り付け

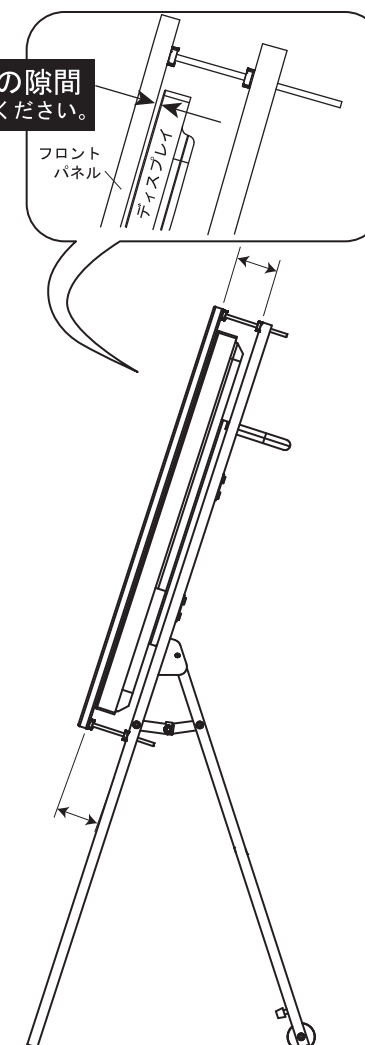
ディスプレイの画面に傷を付けない様に注意してください。

⑥アジャスターナット

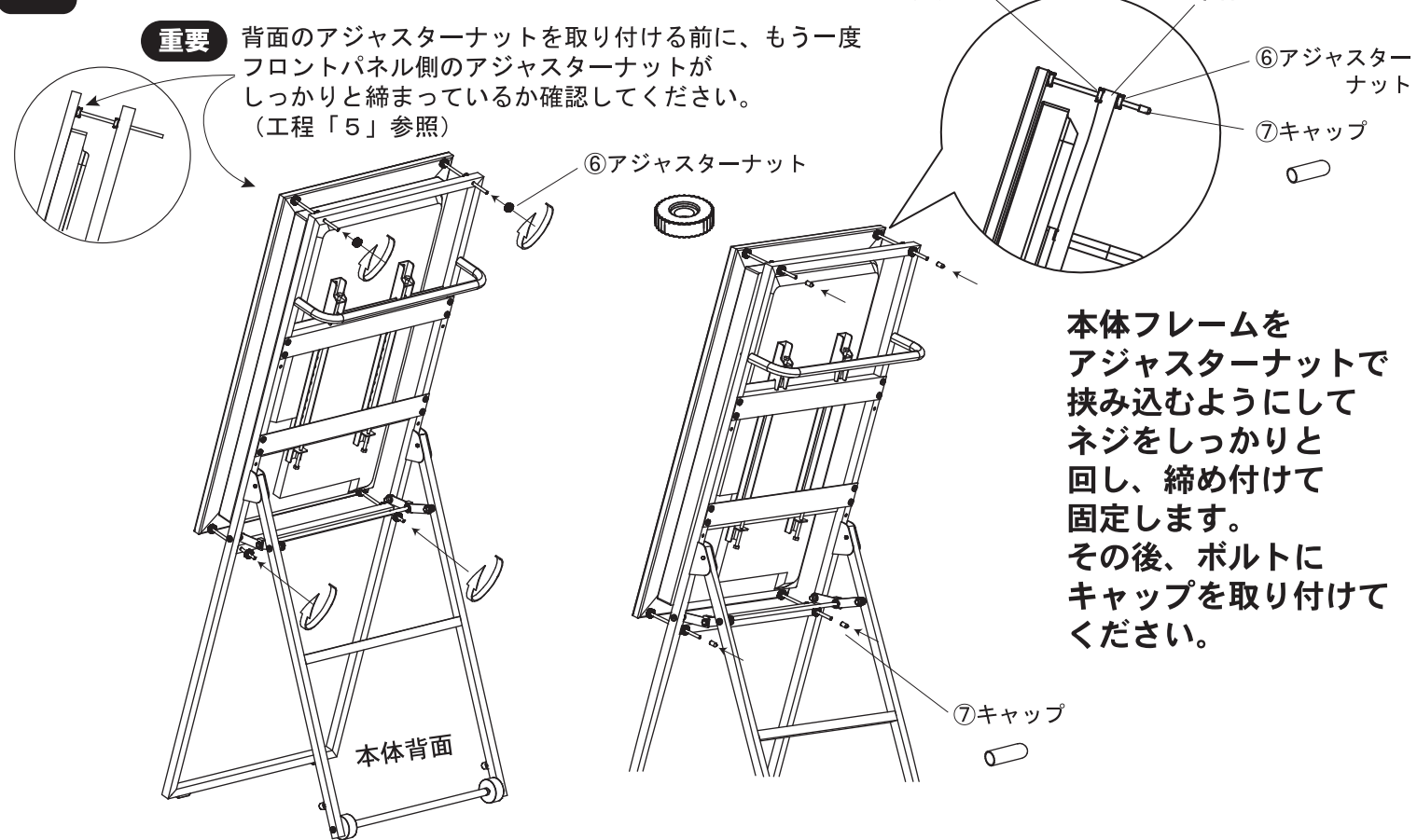


1~2mmの隙間を空けてください。

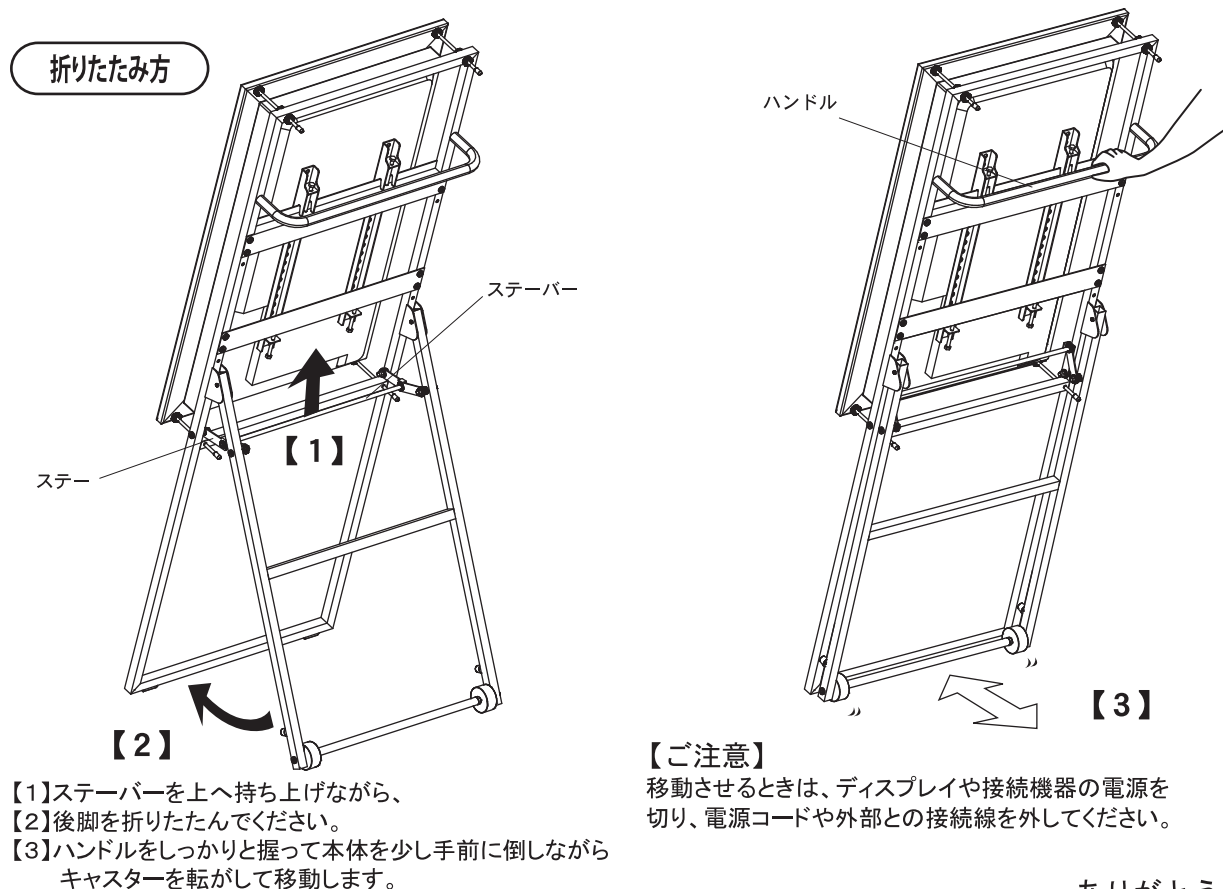
⑥アジャスターナットを回してフロントパネルとディスプレイが平行になる様に調節してください。その時、ディスプレイに不均一な力が掛からない様に、十分注意して4か所、高さを揃えてください。「1~2mmの隙間を空けてください。」⑥アジャスターナットと本体フレームとの間に隙間が出来ないように注意してください。



7 アジャスターナットの取り付け、キャップの取り付け



8 移動する時の注意事項



ありがとうございました。

使用上のご注意

説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しく設置しお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。また、これらを保管し必要な時にお読みください。

■表示と図記号について

- 警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- ディスプレイやスタンドにぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかたりしないでください。スタンドが転倒したり、機器が落下したり、こわれたりしてけがの原因となります。
- 振動のある場所に置かないでください。振動でディスプレイが落下したり、スタンドが転倒するなどして、けがの原因となります。
- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所には設置しないでください。スタンドが転倒し、けがの原因となります。水平で安定したところに据え付けてください。
- 部品を改造しないでください。スタンドの強度が保たれなくなりディスプレイが落下したり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。

注意

- 空調設備の吹き出し口、吸い込み口のそばに設置しないでください。火災の原因となることがあります。
- 高温・多湿の場所に置かないでください。直射日光やストーブの熱が直接あたる場所に置くと、変形・変色・そりなどの原因となります。
- 移動・設置において
 - 移動させるときは取付けしている機器を持って行ってください。転倒してけがをする恐れがあります。
 - 移動させた後に、ネジのゆるみ金具のガタツキがないか確認をしてください。ガタツキがあると変形・転倒をする原因となります。
- 屋外など、水のかかるおそれのある場所には設置しないでください。さびや故障・変形の原因となります。
- 手や指はさみにご注意ください。可動部に手や指をはさみこまないようにしてください。けがをする恐れがあります。同様にテレビを設置する時もご注意ください。
- 記載されている耐荷重以上は載せないでください。商品が破損したり、スタンドが転倒してけがをする恐れがあります。
- 固定用ネジ・チョウバンなどが緩んだまま使用しないでください。変形をしてディスプレイが倒れたり、機器が落ちたりしてけがをする恐れがあります。
- ワックスが塗布されている場所に設置される場合は、キャスターの劣化に御注意ください。ワックスの成分によっては、キャスターの劣化を促進する恐れがあります。
- 転倒防止の処置を行ってください。転倒防止の処置を行わないと、スタンドが転倒しけがの原因となることがあります。必要に応じて市販の転倒防止金具をご使用ください。

※製品の仕様は改善等の為、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。

PL賠償制度付共済



(社)日本家具産業振興会
TEL03-3261-2805